

平成29年8月25日（金）

改めてこの舞台から皆さんの姿を見ていると4月の頃の皆さんとは見違えるような立派な態度です。3年生、この夏休みは受験勉強を頑張りましたね。顔つきが凛々しいです。努力している人の顔になっていますね。2年生、先月の東京遠足は実に立派でした。規則や時間を守ろうとした皆さんの姿は実に頼もしかったです。きっと12月の修学旅行は成功することでしょう。そして1年生、ずいぶん中学生らしくなりましたね。入学した頃の小学生の雰囲気はすっかり消え、堂々とした中学生になりました。今、こうして皆さんと当たり前前に2学期の始業式を迎えられていることに感謝しています。テレビや新聞では、海や山や川で中学生が亡くなるという痛ましい事故もありました。幸い、西中ではそういった事故はなく夏休みを終えることができたのです。この事実には深く感謝しています。2学期は1年で一番長く、合唱祭や修学旅行や職場体験学習などがあります。皆さんの活躍を期待しています。

さて、来週の9月1日は何の日か知っていますか。防災の日です。今から94年前、東京を中心に関東大震災が発生し、東京の町を破壊しました。その事実を忘れないようにと1960年に防災の日が制定されたのです。しかしその後、1995年には阪神淡路大震災、2011年には東日本大震災が発生し、甚大な被害を及ぼしました。その間でも新潟中越地震や熊本地震も起こり日本という国は地震を経験する運命を持った国であることがわかります。いつ地震が起こっても不思議ではないのです。

実は私には阪神淡路大震災を経験した友人がいます。地震が発生した時、すでに教員をしていましたが、自分の家が被災しても教員という立場から、学校に寝泊まりして非難してきた住民の皆さんのお世話をしていました。そこでの2つの事件をお話します。1つめは食事の弁当を配っていた時のことです。毎日おにぎりや沢庵のお弁当にある男性から「いつまでこんな同じ弁当を食べさせるんだ。いいかげんにしろ！！」と怒鳴られたそうです。またある年配の女性から「いつも本当に有り難うございます・・・」と優しく声をかけられたそうです。2つめはトイレについてでした。数千人の非難してきた人々が限られたトイレを使うのには限界があります。時間とともに悪臭を放ち、汚れ、トイレットペーパーも不足するようになったそうです。するとある男性が「市や学校の職員は何やってんだ！こんな汚いトイレなんか使えるか。速く掃除しろ！！」と怒鳴られたそうです。またある男女のグループが「すみません。トイレを掃除したいのでモップやバケツはありますか・・・」と尋ねてきたそうです。同じ状況の中でまったく異なる2つの体験をした友人は、深く人の心というものを考えるようになったそうです。

何度か皆さんに”幸せは自分の心が決める”と話してきました。同じ光景や状況であっても自分の心次第で幸せにも不幸せにもなるのです。人は自分の思い通りにならないとすぐに人を責めたり、人のせいにします。しかし、自分の思い通りにならないことに向き合うことは自分の成長のきっかけになると考えます。3年生、受験勉強を頑張っても思うように成績が伸びない時はどうしますか。親や先生や学校を責めますか。1・2年生、合唱祭の練習でうまく歌えないときどうしますか。担任の先生や歌の苦手な人を責めますか。人を責めたり憎んだり恨んだりしても何も解決しません。思い出してみてください。あれだけ頑張った体育祭、誰かを責めたり憎んだり恨んだりしてクラスがうまくいきましたか。皆さんはこれまでもたくさんの壁や障害を乗り越えてきました。その経験をこの2学期で発揮してくれることを期待しています。そして物事を常に前向きに考え

られる人になって下さい。心の持ち方一つで幸せにも不幸せにもなるのです。さあいよいよ2学期が始まりました。私はこの西中学校に大きな可能性を感じています。もっともっと良くなっていくと思っています。そして市内や県内で一番の学校をみんなと一緒に創っていきたいです。これからの皆さんの活躍に期待を込めて2学期始業式の式辞とします。